



(路傍の詩)

小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

2001年の公民館運営 生涯学習の一層の広がりを目指して

中央公民館長 佐藤 貞夫



長かった雪国の冬も終わって、公民館報三月号のご案内のとおり、平成十三年度の公民館活動が力強くスタートいたしました。

本年度の中央公民館の運営方針は、公民館運営審議会の意見を聞いて、標題のように決まりました。

歴史と伝統のある事業や活動を大事にしなが、事業への参加者や会員を更に増やし、組織を広げ、皆さんの希望に応じて活動内容の一層の広がりを目指します。

広く町民の皆さんの益々のご支援とご協力を切にお願いいたします。

組織の広がりを狙って

青少年の公民館活動への参加を促進したいという強い願いがあります。青少年が今、どんな活動に興味・関心があり、何に魅力を感じているかを汲みとり、希望を集めて事業を企画・実施しようとしています。「親子チャレンジ教室」は、ユニークで楽しい活動を選んでいます。「ヤング体験セミナー」では、中学生以上に人気のあるカヌー教室と昨年大好評だったパラパラ講習会の回数を増やしました。

「健康づくり教室」を新規事業として開設します。小須戸町には、体育協会の諸団体やスポーツ少年団、その他スポーツ・レクリエーションク

ちよこつと一言

(157)

花の小須戸町

暖冬の予報に反して暮れから今年にかけて大雪に見舞われ大変な冬でしたが、三月半ばになり雪も解けてようやく春らしくなってきました。

私は花が好きで、疲れた時や仕事に悩んでいる時、雪割草の花が咲いていたのを見つけてホットしました。三本しかないのですが三本とも別々の

横川浜

吉田 幸一さん



楽しい切り絵講座

ラブなど、たくさんさんのスポーツ団体があります。しかし公民館が直接支援する教室はありませんでした。そこで、少しでも町民の健康づくりと運動に親しむ習慣を身につけてもらうための「ウォーキング教室」と「ニュースポーツ教室」を五月にスタートさせます。

次に、学校週五日制に伴う対応についての課題があります。児童・生徒の希望に応えられる準備が必要です。公民館は、まず現在実施している事業や活動の中に、どのようなして参加を促進するかを検討しています。文化協会、体育協会、自主サークル等の各団体からも受け入れを検討していただきながら、新しい「やろてばクラブ」の有志指導者や活動場所の確保を進めようと考えています。

内容の広がりを願って

昨年度で閉講(終了)した講座が三講座ありました。そのうち、「切り絵講座」は、



絵本から夢を育てる

「花と緑の切り絵」クラブとして、中央公民館利用団体に登録し、大変活発な活動を続けています。また、「絵本講座」を受講された皆さんもクラブとして研修を継続したりボランティアとして読み聞かせの活動を積極的に続けてくれることになりました。公民館は、今後も活動内容の一層の広がりを手助けします。

家庭教育学級では、年齢別に二つあった学級を一つに統合して「ひよこ学級」としました。講師や活動内容を更に魅力あるものにして、参加者の増員を期待しています。そして本年度は「明るい家庭づくり学級」を新設します。人間関係についての悩みを解消しようとする学習を考えています。親子関係から祖父母と孫の関係まで幅広く参加者が本音を出し合う学習会にしたいと願っています。

もう一つは、国の施策によって広く町民に情報活用を学習してもらう事業として「IT講習会」を実施することに

花が咲いてうれしかったので。先日、祭り会場へ行って二本買って来て五本になり、来年が楽しみです。枯らさないように頑張ります。幸い小須戸町は、「寒梅祭」「ボケ祭」「さつき祭」と、イベントが沢山あってひまを見ては楽しめるので喜んでいきます。

主催者側は大変苦労があると思いますが、花の小須戸町を続けて行ってもらいたいと思います。

明るい話題の受信と発信

中央公民館に、長年の願いであったエレベーターの設置の見通しがついたと聞きました。本館にうれしいことです。

お年寄りや車椅子の方々から二階、三階の催しものや活動に楽に参加いただけるようになります。工事の完成を心待ちにしています。

館報一月号の投稿欄に、ご投稿いただいた「たくさんの愛をありがとう。Mちゃんがんばってね」は、心に染みるものでした。中学校ではこの記事を全校朝会で取り上げ、生徒たちを激励してくださいましたことを聞きました。一つの投稿が、こうして広く心に染みていったことをうれしく、ありがたく思っています。

また、館報編集委員会の年間計画の一主題として、二月号に小須戸町の伝統行事を紹介されました。その後から「私たちの地区では、こんな行事をやっています」とか、「こんな古い伝統行事があります」又、「伝統芸能を苦心しながら次の世代につなげていこうとしています」など情報を寄せていただきました。

この他にも、図書館運営についての貴重な提言もいただいています。公民館が地域性を生かして運営できますように、これからも情報をお寄せいただきたいと願っています。

本年度も、運営審議会、館報・図書両委員会として分館役員の皆さんの一層のがんばりをいただいで、事業の広がりを目指していきます。

心あたたまる 地域の伝統行事を紹介

早春を呼ぶ 新保のだんごまき

三月十一日、新保の正福寺で、毎年恒例の涅槃会「だんごまき」が盛大におこなわれました。

時間には駆けつけると本堂には、お年寄りから子ども達まで大勢の参拝者がビニール袋をたずさえて、静かに住職から、お釈迦さまの亡くなったときのような、だんごまきの由来のお話を聞いていました。小さいお子さんを連れて来た若いお父さん、お母さん方もたくさん見られ、ほほえましく思いました。

住職の奥さんのお話では、昔は、子ども達にとつて、お寺のだんごまきは、毎年、本堂に楽しみにしていた行事だったそうです。

だんごまきをするには、その前に新保童玄の全地域を托鉢をして回り、前日の「だんごづくり」には、地域のお年寄りが大勢参加してくださるそうです。

昔は、だんごの色は赤、白、緑の三色で、だんごだけまいていたそうです。現在は赤、白の二色のだんごと、地域の皆さんがお供えしたお菓子もたくさんまきます。

三月十一日(日)小須戸小学校体育館において、百六十名からの選手が集い、第十五回輪投げ大会が開催され、一日をみんなで楽しみました。結果は、次のとおりです。

- 【団体の部】**
- 優勝 横川浜Aチーム
 - 二位 新保Aチーム
 - 三位 矢代田Aチーム
 - 四位 鎌倉Aチーム
 - 五位 矢代田Bチーム
- 【個人の部】**
- 一位 阿達由夫さん(矢代田第六)
 - 二位 星和さん(松ヶ丘)
- 【技能の部】**
- 九本 笠原直松さん(ウツキ)
 - 八本 古木ミイさん(本町四)



こっち〜!こっち〜!

参加者募集

◎健康づくり教室

「歩きま専科」を開設
今年度新たに健康づくりと運動に親しむ習慣を身につける目的で健康づくり教室を開きます。お気軽にご参加ください。

日時 五月八日(火)より全六回
午前十時〜十一時半
会場 中央公民館ほか

対象 一般成人
参加費 五〇〇円(入浴料)
プログラム 表Iの通り

表I 歩きま専科のプログラム

月/日	内容
5月8日(火)	開級式・講義「ウォーキングの効果」実技
5月22日(火)	「山の手コース」を歩く
6月12日(火)	「ウデコキコース」を歩く
7月10日(火)	講義
7月24日(火)	「山里」を歩く
8月28日(火)	「花の湯館」へ歩く

申込〆切 五月一日(火)
※尚、九月と十月はニュースポーツを企画します。

◎乳幼児家庭教育学級

「ひよこ学級」
子どものしつけや、家庭生活に関することを学びながら仲間づくりをしてみませんか。地域の人々に愛されてきた楽しい行事、今後も続けていってみたいと思います。

町老人クラブ連合会「輪投げ大会の結果」

【地区の部】

- 優勝 矢代田チーム
- 二位 鎌倉チーム
- 三位 新保チーム
- 四位 小須戸チーム
- 五位 横水チーム

【個人の部】

- 一位 阿達由夫さん(矢代田第六)
- 二位 星和さん(松ヶ丘)

表II ひよこ学級の主なプログラム

月/日	内容
5月16日(水)	開級式
6月20日(水)	施設見学会
8月8日(水)	プール遊び
10月16日(火)	ミニ運動会
12月19日(水)	子育てセミナー

申込〆切 五月一日(火)

◎健康ラジオ体操のおさそい

毎年恒例の日曜日、朝のラジオ体操を行います。子どもから大人まで、どなたでもご参加ください。

期間 五月連休から十月までの毎週日曜日
時間 朝六時二十分から七時頃まで
場所 信濃川親水緑地公園
内容 ストレッチ、ラジオ体操、山登りも計画

主催 町ラジオ体操普及の会
問合せ 高山まで
☎38-4681

催し物案内

◎おはなしのせかいへ

(絵本の読み聞かせ)
テレビとは、一味ちがった楽しさを味わってみませんか。

日時 四月二十八日(土)
午後二時〜二時三十分
会場 中央公民館・二階和室

対象者 幼児から小学生まで
読み手 絵本講座会員有志
問合せ先 中央公民館

◎おもしろ博士講座

(第一回目)
今回、お願ひする清水さんは、博物館長の業務のかたわら、自然保護活動にも身を置き、主に自然の風景写真家としても活躍しています。

当日は、講演の外にスライドで「写真でみる越後の風景」というタイトルで新作未発表作品を三十分位、上映する予定です。是非おいで下さい。

日時 五月十一日(金)
午後七時半〜九時
会場 中央公民館二階和室

テーマ 「人生を遊ぶ」
「趣味を生かして、自然と生きる」

講師 清水重蔵氏
・豊栄市博物館長
・ビュー福島潟館長
・日本写真家協会会員

◎「おもしろ工作」

ペットボトルを使って、簡単な水でつぼろを作ってみませんか。

日時 五月十二日(土)
午前九時から十一時半
会場 白根学習館・理科教育センター研修室

対象 白根市、小須戸町の児童生徒(三年生以下は保護者同伴)

持ち物・炭酸飲料の入ったペットボトル15リットルサイズを一個
・ペットボトルのふた一個・タオル

申込受付 四月十九日(木)から
受付時間 午前九時〜五時
問合せ 白根地区理科教育センター
☎025-372-2924

会員を募集します

◎小須戸手話サークルWORTH
手と手で交すコミュニケーションを、始めてみませんか。

活動日 毎週木曜日
午後七時半〜九時まで
会場 きずなの家(小向)

年会費 大人二千円
問合せ先 中央公民館
☎38-2234

ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に心じます。

◆五月の相談日
十一日(金)・十八日(金)・二十五日(金)

◆受付時間
午後一時〜五時

◆電話番号
三八一三三〇〇

◎お名前を「言わぬこと」は、秘密は、固く守ります。

文芸欄

梵鐘の間に梅のほころびぬ 坂井隆思
友遊けり田原ひまなき雪解風 間野良遊
何もかも音の不思議や春が来る 内山越楼
追々寺の庫裡より鬼の笑ひ声 馬場綾子
古きよき思ひ出話炉を囲む 五十嵐香月
送迎の忙しき湯宿春立ちぬ 丸山栄子
薬床に産みたて卵春立ちぬ 東樹ちよ
ペランダに向ひ会ひたる恋の猫 井本マツ子
母の食少し進みし二月尽 藤井ハルエ
柳
バイキング腹が寄り切る皿の数としお
言い訳に言葉選んで深呼吸 みのる
選ばれるまでのスマイル低姿勢 信子
好かれても僕にも選ぶ権利あり ひさし

シリーズ 「今、子どもたちは」 (56)

六年生ありがとう

小須戸小学校

六年生に思い出を作ってもうため「六年生ありがとう週間」を、五年生が中心になって計画を立てました。
【六年生と遊ぶ週間】
昼休みに学年毎に、六年生と鬼ごっこやドッジボールを楽しみました。
【色紙作り】
縦割り班の班長(六年生)に一人一人がメッセージを書いて、色紙を贈りました。
【六年生を送る会】
各委員会や学年毎に係を分担し、六年生のお別れ会を楽しみました。
・一年生はダンスを披露
・二年生は歌とプレゼント
・三年生は入退場のアーチを



六年生入場